

主日礼拝

司会 坂真理子

証詞 賈 晶淳

奏楽 木田みな子

受付 赤尾泰子

前奏 Prelude

讃美 Hymn **472 番**(朝ごとに主は)

聖書 Scripture **コリントの信徒への手紙一 9 章 19-27 節**(新311p)

祈祷 Prayer

使徒信条 A Apostles' Creed A **93-4 1 A**

献金 Offering

献金の祈り Offering Prayer

報告 Report

証詞 Testimony **「朽ちない冠とは」**

祈祷 Prayer

讃美 Hymn **456 番**(わが魂を愛するイエスよ)

食前の祈り Prayer before meals

共食 Commensal

応答 Response

祈祷 Prayer

後奏 Postlude

今年の聖句

「わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。あなたたちの息子や娘は預言し、老人は夢を見、若者は幻を見る。」ヨエル三の一

今週の聖句

「競技をする人は皆、すべてに節制します。彼らは朽ちる冠を得るためにそうするのですが、わたしたちは、朽ちない冠を得るために節制するのです。」コリント I 九の二五

(Zoom ID 「607 777 8018」 PW 「roba1970」 担当 石田・賈・坂・山崎)

来週の集会

主日礼拝 10 月 27 日(日) 午前 10 時半 証詞 山崎麻里子氏

消息と案内

山崎麻里子氏 本日 大泉教会礼拝説教

永眠者記念墓前礼拝 11 月 3 日(日)午前 11 時 牛久女化墓地

※ この日はズームや高田馬場にての礼拝はありません。

次回聖書研究会 (Zoom) 11 月 6 日(水)午後 7 時半

聖書 ローマの信徒への手紙 7 章 担当 権田一正氏

富田牧子氏コンサート 11 月 17 日(日) 11 時、14 時、17 時

ギャラリー古藤(練馬区栄町 9-16) 12 名限定 4000 円

木田みな子氏パイプオルガンコンサート 入場料 2000 円

12 月 7 日(土)午後 2 時 京都丸太町教会

特別献金

坂百合子氏(感謝)

先週の集会報告

	対面(子供)	Zoom	計	席上献金
主日礼拝	10/13 16	6	22	13,500
聖書研究会	10/16	6	6	
ろばを読む会	11/12			
パンをさく会	11/21			

11 月・礼拝・会員日誌担当

司会	証詞	奏楽	受付・献金	会員日誌
3 榎本征子	賈 晶淳		新谷照子	
10 長谷川まつ子	井上明子	前中榮子	空閑厚樹	小池健治
17 佐藤かよ子	賈 晶淳	泉谷五十鈴	山崎麻里子	小林祥人
24 空閑厚樹	佐藤壮広	千葉道代	雨宮道子	高瀬礼子

集会場所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-13 東京家政専門学校 2 階 ホームページ <http://www.hyakunincho-church.com>

連絡先 〒112-0002 文京区小石川 2-17-41-301 賈 晶淳(カ ジョンソン) 携帯 090(6176)5403 E-メール hyakuninchoroba@gmail.com

◇牧師日誌◇

No. 788

10 月 1 日から郵便料金の定形郵便物が 25 g 84 円から 50 g 110 円へ約 30%値上がりした。電子メールの利用者が増え、郵便によるやり取りが減ったことで発生した赤字を埋め合わせようとした値上がりだそうだ。郵便の利用者数は今後も益々減って行くことが予想される中、値上げの効果が何時まで保たれるのか心配である。早速「ろば」の発送料金がこれまでは 84 円切手で間に合ったが、今後は 110 円の切手を貼らないと送れない。クロネコヤマトのメール便が競争力を持つとそれを止めさせた郵便局だが今後どうなるのだろうか。宅急便も値上げる可能性がある。

10 月 11 日ノーベル平和賞に日本の「被団協(原水爆被害者団体協議会)」が選ばれた。被団協は広島・長崎の被爆者たちで作った団体であり、世界に向けて核兵器廃絶や核実験禁止を長年訴え続けてきたことが認められたこととなる。とても嬉しいニュースである。被爆者やその家族の苦しみが少し報われた気がする。しかし、日本政府はこれまで「核兵器の保有や使用を全面的に禁じる核兵器禁止条約」についてまだ批准していない。首相になったばかりの石破さんはアメリカとの「核共有」の発言をしたばかりのタイミングである。日本の捕囚勢力は被団協のノーベル平和賞受賞を喜んでいないかも。

似ていることが韓国でも起きている。10 月 10 日にノーベル文学賞に韓国のハン・ガンさんが選ばれた。とても嬉しい事であった。彼女の出身は光州で 1980 年 5 月 18 日に起きた 5・18 光州事件の幼い被体験者でもある。このこともあり、彼女の作品には女性の社会的地位の問題を扱った『菜食主義者』があり、光州事件を扱った『少年が来る』や済州島で 1948 年 4 月 3 日に起きた 4・3 事件を扱った『別れを告げない』などの多くの問題作がある。私はまだ『菜食主義者』しか読んでいないが、今は彼女のノーベル賞受賞の感動を皆さんと共に味わい、他の作品は韓国に戻ってから是非読んでみたいと思っている。読みやすい文体とは思わないが、歴史や社会問題を扱う彼女の作品活動は、私自身がこれまで求めて来た信仰の歩みと重なるところが多い。しかし、彼女の受賞に対し、朝鮮半島の負の歴史の加害者であり、その罪過を認めたくない保守勢力からは喜ばないところか、反対をしている状況である。彼らには 4・3 事件も、5・18 事件も北朝鮮の共産主義者が起こしたと都合の良い内容が信じ込まれている。

そう意味で被爆事件も 4・3 事件も 5・18 事件も過去の事件のように見えるが、放射能による苦しみや朝鮮半島の分断による苦しみなどは今も残っている悲しい現実である。だからこそ今回のノーベル賞受賞の意味は大変重いものである。